

文化功労者表彰2氏、一般表彰2氏、特別表彰2団体が受賞

※「文化功労者表彰」本市の文化の向上発展に貢献したその功績が卓絶であった方
 ※「一般表彰」産業または経済の振興、保健衛生の向上などに関し、著しい功労のあった方
 ※「特別表彰」業績および功績が顕著であった方

平成29年 鹿角市表彰

市の発展に貢献された4氏2団体を表彰

表彰式は10月31日(火)開催

市では、市の発展や文化の向上、産業や社会福祉などの分野で功績のあった方に対し表彰を行っています。

文化功労者表彰



文化功労者表彰
木村 鶏郎さん (76)

スポーツの振興

鹿角市スポーツ推進委員(旧鹿角市体育指導員)に任命されて以来40年間、地域のリーダーとして長きにわたり野球やスキーなど、地域スポーツの振興、ニュースポーツの普及に尽力されました。
 また、平成24年2月に設立された十和田スポーツクラブの会長を務めるなど、日ごろから生涯スポーツの推進にも大きく寄与されています。
 これらの功績が評価され、昭和61年に秋田県体育指導員協議会功労者表彰、平成5年に東北地区体育指導員協議会功労者表彰、平成7年に全国体育指導員協議会功労者表彰、平成12年に文部大臣体育指導員功労者表彰を受賞されています。

文化功労者表彰



文化功労者表彰
安田 孝司さん (79)

教育文化の向上

昭和37年の「ボーイスカウト秋田第26団少年隊」の発団以来、指導者としてスカウト活動を始め、地域の奉仕活動や花壇整備活動などの社会教育の普及に努め、子供たちの自主性や協調性、リーダーシップなどを育み、多くの人材を輩出してこられました。
 また、平成18年1月に花輪地域づくり協議会副会長、同年4月からは会長に就き、平成26年4月まで務められました。地域を生かすための活動を第二に掲げ、「サタチびつ」や「大人の放課後倶楽部」などの取り組みを通じ、社会教育の振興に尽力されました。
 これらの功績が評価され、平成12年には文部大臣社会教育功労者表彰を受賞、平成27年秋の叙勲では旭日単光章を受章されています。

一般表彰



一般表彰
佐藤 一さん (68)

果樹の振興

果樹の新しい栽培技術に率先して取り組む平成6年から現在まで鹿角市認定農業者、平成14年から27年まで秋田県指導農業者として活躍されました。
 「かづの北限の桃」は、平成5年の有志による研究が今日の栽培拡大に至る発端であり、その研究会設立の先導的役割を担われました。平成14年には、果樹のオーナー制度「クロマタ倶楽部」を設立し、もぎ取り体験など、体験型農業のさきがけとして、グリーンツーリズムの模範事例となりました。
 また、地元小学生の農業体験学習や新規就農を目指す研修生を受け入れ、地域の担い手育成にも尽力されています。
 これらの功績が評価され、平成27年にふるさと秋田農林水産大賞担い手部門大賞、平成28年に大日本農会緑白綬有功章を受章されています。



一般表彰
齊藤 策徳さん (71)

地方自治の振興

昭和47年から63年まで鹿角市体育指導員として、平成19年から27年まで八幡平体育協会会長として、生涯スポーツの推進や市民の健康づくりに寄与されました。
 また、昭和63年から平成17年まで、鹿角市公民館運営審議会委員として円滑な公民館運営に尽力され、平成17年から27年までは、八幡平地域づくり協議会副会長として、特色ある地域づくりに取り組まれました。
 そして、平成2年から現在に至るまで、鹿角市固定資産評価審査委員として、平成25年からは委員長として、現在も適正・公平な審査に努められています。
 これら多くの行政に関係する役割を歴任され、市政の発展に大きく貢献されています。



特別表彰
花輪ばやし祭典委員会

民俗芸能の振興

昭和50年、花輪ばやしの運営統括を目的に設立され、以来祭典の運営、保存伝承に取り組んでいます。また、奉納される祭礼囃子の継承のため、年間を通じた講習会などの後継者育成活動や世代を超えた多くの人々との対話と交流の促進により、コミュニティを結びつける重要な役割を果たしています。
 花輪ばやしは、昭和53年の秋田県無形民俗文化財指定を皮切りに、平成26年に「花輪祭の屋台行事」として、国の重要無形民俗文化財に指定、平成28年12月には「山・鉦・屋台行事」の構成遺産としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。



特別表彰
蟹沢自主防災会

地域防災の推進

平成16年に尾去沢蟹沢地区で結成され、毎年9月第2日曜日を「地域防災の日」と位置づけ、地域ぐるみの総合防災訓練を実施しています。小型動力ポンプの使用訓練や土のう製作訓練は、後の火災の延焼拡大を防止し、平成19年の豪雨災害時に家屋の床下浸水を防ぐなど、被害の軽減に結びつきました。このほか、主に高齢者を対象とした防災の寸劇を披露するなど、特色ある活動を行っています。
 これらの功績が評価され、平成26年に防災功労者担当大臣表彰、平成28年に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞されています。